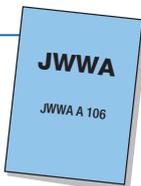


JWWA A 106 水道用コンクリート 止水センキョウ



1965.8.30 制定

制定要点：

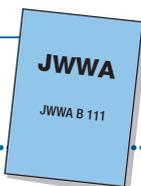
種類は1～4号、材料はJIS G 5501の2種を規定
水道用コンクリート止水センキョウ。

1998.4.7 廃止

廃止理由：

材質を含めて止水栓筐としての技術的要件に適合しなくなった
ことから、JWWA B 111とJWWA B 113とともに平成10年3
月30日にJWWA K 147として整理統合したため。

JWWA B 111 水道用鋳鉄止水センキョウ



1965.8.30 制定

制定趣旨：

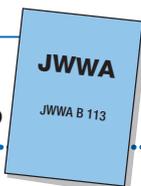
昭和35年10月名古屋市開催の第29回日本水道協会総会に
おいて規格化の提案があり、フタの取付けがヒンジのA形とフ
タの落とし込みのB形を採用。呼び径13～50の止水セン用の
キョウについて規定。キョウの高さは宅地用400mm、公道用
630mm。キョウの材料及び塗料はJWWA B 110同様。

1998.4.7 廃止

廃止理由：

材質を含めて止水栓筐としての技術的要件に適合しなくなった
ことから、JWWA A 106とJWWA B 113とともに平成10年3
月30日にJWWA K 147として整理統合したため

JWWA B 113 水道用二段式止水せんきょう



1997.3.28 制定

制定趣旨：

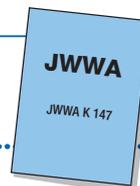
昭和35年10月名古屋市開催の第29回日本水道協会総会に
おいて規格化の提案があり、呼び径13～25の止水セン用を
1号、呼び径30～50の止水セン用を2号として規定。きょう
の高さは約800、1000、1200及び1400mmの4種類を、きよ
うの材料及び塗料はJWWA B 111同様。

1998.4.7 廃止

廃止理由：

材質を含めて止水栓筐としての技術的要件に適合しなくなった
ことから、JWWA A 106とJWWA B 111とともに平成10年3
月30日にJWWA K 147として整理統合したため。

JWWA K 147 水道用止水栓筐



1998.3.30 制定

制定趣旨：

止水栓筐関連の規格は、材料別にJWWA A 106、JWWA B
111、JWWA B 113が規定されていたが、制定から30年あ
まり経過し、コンクリート製や鋳鉄製から合成樹脂製やダクタイ
ル鋳鉄製材料に変わってきて、技術的要件に適合しなくなった
ことから、3規格を集約した形で規格制定した。

制定要点：

- (1) 材料を樹脂製又はダクタイル製とした。
- (2) 宅地から車道まで使用できるように自動車荷重T2、T8、
T14用のものを規定
- (3) T14用には、蓋と上部枠とのがたつき防止のため急勾配受
け構造を規定

3規格を形状別に集約